

# 「第一回富山県国土強靱化地域計画検討委員会」主な意見（概要）

（令和2年1月30日開催）

## （対象とするリスク）

- ・気候変動の内容を盛り込んでも良いのではないか。

## （行政機能・防災教育分野）

- ・小学校と中学校では、副教材を使ったり、防災士と協力した防災教育を実施しているが、それを高校・大学と広げていくことが考えられる。
- ・富山県防災・危機管理センター（仮称）について、液状化対策・地盤改良を検討すべきではないか。
- ・古文書等の文献調査や津波堆積物の調査・研究を進めていくことを検討してはどうか。
- ・富山防災 web の運用では、サーバーが落ちないシステムの構築に向けた方向性を盛り込んでも良いのではないか。
- ・県内の河川は急流河川のため、計画高水に達する前に破堤するリスクがあることを盛り込んだ方が良いのではないか。
- ・市町村の地域計画策定にあたっては、県との連携が重要である。

## （住環境分野）

- ・被災者等の健康、避難生活環境の確保は重要な点であり、避難所に備蓄品等を運ぶルートを整備も盛り込んだら良いのではないか。

## （産業分野）

- ・地震に対するBCPは8割～9割の企業が策定しているが、水害に対するものは少ないため、「多様なリスクに対応するBCPの策定」という表現を使ってはどうか。

## （人材育成）

- ・消防団員数の目標値について、他県で災害起きている間に、県内でも災害が起こった場合は、消防団員の協力が必要になるため、現在の目標値で足りるか検討していただきたい。
- ・防災士養成の数値目標を掲げた点は高く評価できるが、隣接県と比較すると、目標はまだ低いレベルにある。
- ・女性消防団員の確保の記述はあるが、女性防災士についての記述がないため、女性防災士の増やす方針を盛り込んでどうか。
- ・県教育委員会と連携して、防災リーダー養成研修の対象として中高生の受講を増やしてはどうか。

(老朽化対策分野)

- ・インフラの老朽化は、確実に進んでいるため、計画的に長寿命化、更新を進めてもらいたい。